

ローヤル润滑油ニュース

No.159

発行 ローヤル油機株式会社 2007年6月2日

〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前 107-4 TEL.0246-32-6657 FAX.0246-32-6658

Eメールアドレス GSP00013@nifty.com

HPアドレス <http://homepage1.nifty.com/loyal/>

【ENSグリース】 新日本石油

1. エステル系合成油とウレア系増ちょう剤の長寿命グリース
2. 特徴：低温、高温で使用する高速ベアリング用で高好評
3. 用途：電動機・乾燥炉・ブロアー・工作機械のベアリング
4. 使用温度範囲：-40～175
5. 荷姿：ジャバラ400g×1本、5本、20本 16kg缶



高崎物語 1

伯母の家族に別れを告げ、下館から水戸線の終着駅である小山駅に向かった。

小山駅はまた、両毛線の始発駅でもあった。階段を上り連絡橋を渡ると、一番端のホームに高崎行ききの四両編成の気動車が待っていた。

出発時刻にはまだ時間があつたせいか、乗客の姿はまばらだった。座席に腰を下ろし、車窓の外に目をやりながらぼんやりと物思いにふけていた。

これから始まる四年間の大学生活や将来のこと、残してきた家族や妹のことに思いをめぐらしていた。

やがて、定刻通り気動車は軽快なエンジン音を響かせて小山駅を離れた。

栃木、佐野駅を過ぎて栃木県の県境にある足利駅を過ぎる頃には、高校生の乗客で車内はにぎやかになっていた。車窓の両側からは、青々とした桑畑が目に見えようになっていた。絹織物で有名な桐生から伊勢崎に掛けては、それが顕著になっていた。

関東平野の西の端を三国山脈の裾

『旅立ちて、高崎』

野に沿って走る車窓からは、赤城山の姿が見えてきた。気動車が、その麓を縫うように走りながら県庁のある前橋駅を過ぎると、そこは終着駅・高崎だった。

高崎は、地形的には赤城・榛名・妙義・三山の扇の要に位置する風光明媚なところだ。遠くには、雪を冠る信濃の雄・浅間山が、凜とした雄大な姿を見せてくれる。

その浅間山を源流とする清流・烏川が、街の西側を滔滔と流れる。烏川を渡った高地には、関東平野を見下ろすように立つ「高崎観音」がある。

江戸時代には平城があつたが、現在はお堀と石垣があるだけで、市民の憩いの場である公園になっている。

わたしは、この公園でびっくりするような光景を目にすることになった。それは、手をつなぎ肩を寄せ合いながら散策する若いカップルの姿だった。わたしが住むいわきの街では、当時ついぞ見ることもなかった光景なので、目のやり場に困った。自分も、彼女が出来たらこんな風に歩いてみたいと思つた。

次号につづく

あとがき

先月40年ぶりに、長野の松本と黒四ダムを車で訪ねた。往きは東京、帰りは新潟まわりの1,200kmの旅だった。堀と石垣と城郭・日本的な風景の松本城、さくら(馬肉)尽くしのフルコースにはさすがに良かった。トロリーバスでトンネルを抜けると黒四ダムだった。黒四ダムから見た北アルプスの山々、安曇野の蕎麦、長野の善光寺、須坂町の味噌、上越市の高田城、旅の途中くっきり見えた富士山の姿が、最高でした。